

「無線局事項書及び工事設計書」の記載要領 (P2)

平成15年改正・電波型式新旧対照
 旧 新(平成16年1月13日から)
 A3J→J3E
 A3 →A3E
 F3 →F3E
 F2 →F2D(パケット通信、DTMF)

「発射可能な電波の型式及び周波数の範囲」
 は、電波の型式と周波数帯の関係が明確で
 あるように記載してください。

技術基準適合証明・認証を受けている送信機は、その筐体に貼付されて
 いる証明ラベルに記載されている記号番号を記載してください。
 技術基準適合証明・認証番号以外のものは、記載しないでください。

電波型式と変調の方式の関係が明確で
 あるように記載して下さい。

周波数帯によって終段管や定格出力
 が異なる場合は、その関係が明確
 であるように記載してください。

変更申請の場合、
 個々の送信機ごとに該
 当する種別にシ印を付け
 てください。
 開局の場合は、関係あり
 ません。

装置の区別	変更の種別 <input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	技術基準適合証明番号	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	変調方式	終段管		定格出力 (W)
					名称個数	電圧	
第1送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	KX87654321	技術基準適合証明・認証を受けている送信機を、そのままの状態使用する(送信ブースタや画像				
第2送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	002KN123	F3E 144MHz帯,430MHz帯	リアクタンス変調	3W:2SK2595×1 20W: 144MHz帯:M68750×1 430MHz帯:M68751×1	3W: 9.0 V 20W:13.8 V	3 20
第3送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	技術基準適合証明番号以外のもの (型名・JARL登録番号など)は記載し	A3E J3E { 3.5MHz帯,3.8MHz帯,7MHz帯 21MHz帯,24MHz帯 A3E F3E J3E 28MHz帯,50MHz帯	A3E:低電力変調 F3E:リアクタンス変調 J3E:平衡変調	28MHz帯以下 2SC2509×2 50MHz帯: M57735×1	13.8 V	10
第4送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	FRX-278	A1A, F3E, J3E: 144MHz帯,430MHz帯,1200MHz帯	F3E:リアクタンス変調 J3E:平衡変調	144MHz帯:M57713×1 430MHz帯:M57716×1 1200MHz帯: M57762×1	13.8 V	10
16 工 事 設 計 書 第5送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	一括記号では不可です 個々の電波型式で記載	A1A A3E F3E J3E 1.9~50MHz帯				
第5送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		ATA,G1B:1.9MHz帯 A1A:4630kHz A1A,A3E,J3E,F1B { 3.5MHz帯,7MHz帯,14MHz帯 F1D,F3F,G1B,G1D { 18MHz帯,21MHz帯,24MHz帯 A1A,A3E,J3E,F3F:3.8MHz帯	A3E:低電力変調 F3E:リアクタンス変調 J3E:平衡変調	RD70HVF1×2 144MHz帯以上: RD70HVF1×1	13.8 V	50 50MHz帯: 10
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		A1A,A3E,J3E,F3E,F1B,F1D,F2D,F3F,G1B,G1D: 28MHz帯,50MHz帯,144MHz帯,430MHz帯				
第7送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		A1A 1.9MHz帯 A1A A3E { 3.5MHz帯,3.8MHz帯,7MHz帯 J3E { 18MHz帯,21MHz帯,24MHz帯 A3E F3E J3E 28MHz帯,50MHz帯	A3E:低電力変調 F3E:リアクタンス変調 J3E:平衡変調	28MHz帯以下: 2SC2509×2 50MHz帯: M57735×1	13.8 V	10
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更						
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更						
送信空中線の 型 式				周波数測定装置の 有無		<input type="checkbox"/> 有 (誤差0.025%以内) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
添付図面		<input type="checkbox"/> 送信機系統図		その他の工事設計		<input checked="" type="checkbox"/> 法第3章に規定する条件に合致する。	

技術基準適合証明番号以外のもの
(型名・JARL登録番号など)は記載し

一括記号では不可です
個々の電波型式で記載

このような書き方は不可です
無線従事者免許資格で操作する事が出来ない周波数や電波型式と周波数帯の組み合わせに許容され
ないものがあるようにも解釈できること等の不都合があり不都合です。

周波数や電波型式と周波数帯の組み合わせに許容されない
ものが生じないように区分して記載してください。

技術基準適合証明・認証を受けて
いる送信機も、送信ブースタや画像
通信などのための附属装置を使う
ときには、証明ラベルの番号だけで
なく、発射可能な電波の型式から
定格出力までの全ての事項を記載
しなければなりません。

24MHz帯以下の周波数帯での空中線
電力が20Wを超える局は、周波数
測定装置またはこれに代わるものが
必要です。
その場合は、条件に適合することを

一つの欄に書ききれない場合は、二つ以上の欄を
まとめて1台分として使ってもかまいません。

移動する局の場合は、
記載を要しません。
移動しない局場合は、
使用するアンテナの型
式を記載してください。

記載上の注意
24MHz帯以下でのダイ
ポール、垂直型、GP等
はそのままの名称で記
載してください。(28MHz
帯以上ではこれらを「単
一型」とまとめても支障
ありません。)

直接総合通信局等に申請する場合(技術基準適合証明・認証を受けた送信
機を除く。)及び附属装置を使用する場合は、送信機系統図が必要です。
提出する場合は、この欄でシ印して添付していることを表示します。
TSSで保証を受ける場合、系統図等は保証のための資料ですから、ここには

送信機の欄に記載した以外の事項(過熱、高圧電気・雷対
策、受信機からの電波洩れなど)についても、電波法第3章
の技術的条件に適合することを、この欄でシ印することによ